

京都府の食の安心・安全に係る
取組について

令和7年度リスクコミュニケーション開催計画（案）

1 目 的

府民が食に関する情報を入手する機会は、テレビ、新聞、雑誌が主流であったが、近年はインターネットから情報を得る人が増えている。一方、SNSの情報は、様々な情報が混在しており、府民が求めている情報を取捨選択することが難しくなっている。

そこで、府民が自らのライフスタイルに応じた適切な情報選択に役立てられるよう、食の安心・安全に関する最新の知見、科学的根拠や法令に基づく情報等を発信し、食の正しい情報について学び、考える機会を設けるため実施する。

2 目 標

参加延べ人数	500 人（食の安心・安全行動計画）
・農政課主催	100 人（30～40 人×3 回）
・きょうと食の安心・安全フォーラム	100 人
・各振興局開催 意見交換会等	100 人
・その他の地域機関等が開催した施設公開等	200 人

3 農政課が主催するリスクコミュニケーションの令和7年度開催計画

オンライン等を活用し、開催予定

テーマ	開催時期	場所	対象	開催	講師
農林水産物生産の魅力と食の安全	7～10 月	WEB (Zoom) / 会場	一般府民	農政課 経営支援・担い手育成課	農業者 京都府
災害時の食	9～10 月	WEB (Zoom)	一般府民	農政課	農林水産省 厚生労働省
カフェイン	10～12 月	京都学・歴彩館	大学生	農政課 食品安全委員会	食品安全委員会 京都府

【参考】令和6年度の農政課主催リスクコミュニケーション開催実績

テーマ	開催時期	場所	対象	開催	講師
災害時の食	10 月 9 日	WEB (Zoom)	一般府民	農政課	農林水産省 京都府
カフェイン	12 月 6 日	京都学・歴彩館	大学生	農政課 食品安全委員会	食品安全委員会 京都府
食品表示	1 月 24 日	京都学・歴彩館	一般府民	農政課	消費者庁 京都府

令和7年度食の安心・安全意見交換会の年間計画

食の安心・安全に関する様々なテーマについて、府内消費者団体と意見交換会を開催して、京都府の食に関する施策、取組に意見を反映しています。

令和7年度に取り組む施策や6年度のアンケート結果や意見を踏まえて、令和7年度年間計画のテーマを検討しています。

令和7年度開催計画

	開催時期	テーマ	担当
第1～3回	6～12月	生乳等の安心・安全について※	畜産課 生活衛生課
		保健所における食品衛生の業務について※	生活衛生課 保健所
		水産物の安心・安全について（ズワイガニのトレーサビリティについて）※	水産課 水産事務所
		第5次京都府食育推進計画の策定※	農政課
		京都府農林水産業人材確保育成戦略（仮称）について※	経営支援・担い手育成課 京都府立農業大学校
第4回	2月頃	令和8年度京都府食品衛生監視指導計画について	生活衛生課

※ 5つのテーマのうち、3つを選定し意見交換会を実施する予定。

（参考）令和6年度開催実績

	開催日	テーマ	担当
第1回	7月10日	環境にやさしい農業の推進について	農産課
第2回	9月9日	食品衛生の取組について	生活衛生課 保健環境研究所
第3回	10月3日	第7次京都府食の安心・安全行動計画の策定について	農政課
第4回	2月10日	令和7年度京都府食品衛生監視指導計画について	生活衛生課

リスクコミュニケーション「食品の表示を学ぼう！」を開催しました（報告）

令和 7 年 2 月
農 政 課

令和 7 年 1 月 24 日（金）に一般府民を対象に食品表示についてのリスクコミュニケーションを開催しました。

記

- 1 日 時 令和 7 年 1 月 24 日（金）14 時から 15 時 30 分まで
- 2 場 所 ・ 京都府立京都学・歴彩館 小ホール（京都市左京区下鴨半木町 1-29）
・ オンライン（ウェビナー）併催のハイブリッド方式
- 3 主 催 京都府
- 4 参加者 80 名（会場参加者 25 名、オンライン参加者 55 名）
- 5 内 容

（1）講義

ア 「京都府における食の安心・安全の取組について」

京都府農林水産部農政課 参事 八谷 純一

イ 「食品の表示を学ぼう！」

講師：消費者庁食品表示課 課長補佐 宗 伸一郎 氏

消費者庁食品表示課 総括係 菅野 雅也 氏

（2）質疑応答・意見交換

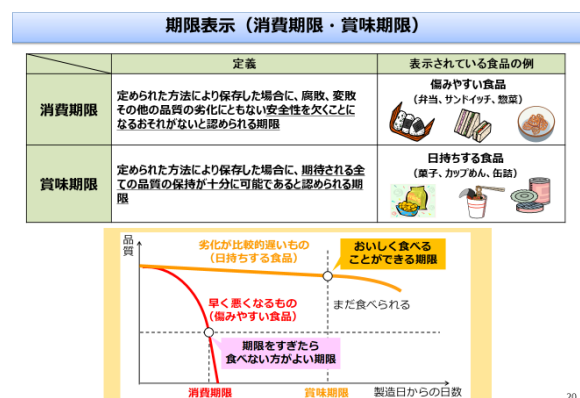
6 参加者アンケート結果

【食の安心・安全への理解促進度】

「理解がとても進んだ」「理解が進んだ」と回答した割合 82.6%

【参加者の感想】

- ・ 食品表示について勉強になった。
- ・ まぐろの切り身・盛り合わせを例に挙げた、生鮮食品と加工食品の話は初めて知る情報で興味深く、自分で詳しく調べてみようと思った。
- ・ 知っているつもりになってあいまいな知識だったものをしっかりと確認、認識を改めることが出来た。



リスクコミュニケーション「食品の表示を学ぼう！」の様子

令和6年度きょうと食の安心・安全フォーラムの開催結果について

令和7年2月
農政課

2月4日（火）に、「きょうと食の安心・安全フォーラム～育てよう！京の食の未来～」を開催し、京都府及び食品関連事業者が食の安心・安全等に向けた取組を報告するとともに、参加者と意見交換を行いました。

記

- 1 日 時 令和7年2月4日（火）13:30～15:30
- 2 会 場 京都府立京都学・歴彩館 小ホール（※Zoom ウェビナーによる同時配信）
- 3 主 催 きょうと食の安心・安全フォーラム実行委員会（一般社団法人京都府食品産業協会、京都府生活協同組合連合会、特定非営利活動法人コンシューマーズ京都、一般社団法人京都鶏卵・鶏肉安全推進協議会、京都府）
- 4 参 加 者 消費者、事業者等 121 名
- 5 参加事業者
 - ・ Bio・ラビッツ株式会社 代表取締役 梅本 修 氏（農業者／京丹後市）
 - ・ 株式会社辻しば漬本舗 代表取締役 辻 和豊 氏（漬物製造者／京都市）
 - ・ 有限会社グリーンファームソーゴ 取締役社長 牧野 幸弘（鶏卵生産者／福知山市）
- 6 概 要
 - (1) アンケート集計結果（回答率 86.3%）
 - ・ 本フォーラムに参加して「大変満足」・「満足」と回答した参加者の割合：78.4%
 - ・ 京都府や事業者の取組について「とても理解が進んだ」・「理解が進んだ」参加者の割合：93.2%
 - (2) 参加者の主な感想
 - ・ 食品関連事業者の苦労など聞くと、農林水産物の価格が多少高くても購入しようと思いました。
 - ・ 食品の生産・製造に関する思いを聞いたのがとても良かったです。安心・安全の取組を意識するキッカケになりました。
 - ・ 食品関連事業者の今まで知らなかった苦労や工夫、取組の数々を直接聞くことができ、勉強になりました。近所の友人達にも話そうと思いました。
 - ・ 生産者の努力や苦労がわかり、知識の醸成につながりました。今後も食の安心・安全について学んでいきたいと思います。

